

# 高校・専門・性別属性に着目した 大学の修学への影響要因分析

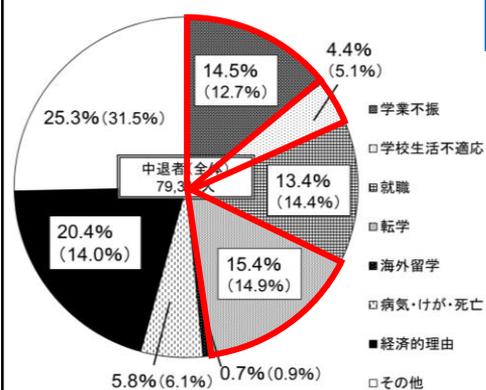
北海学園大学工学部生命工学科  
4715109 菊地晃平

1

1

## 研究の背景

- 平成24年度 日本の高等教育における退学者



約3割が学業と学校生活

学習意欲？ 生活態度？

高校の指導は？

引用)文部科学省:学生の中途退学や休学等の状況について(平成24年度)

2

2

## 既存研究<sup>1)</sup>

大学生活  $\xrightarrow{\text{影響要因}}$  大学での成績



大学生活  $\xrightarrow[\text{影響要因}]{\text{性別・専門}}$  大学での成績  
高校生活



参考文献

1) 寺崎里水: 大学生の「学力」と「成績」-確かな学力を起案とするキャリア形成支援に向けた基礎的検討-

3

3

## 研究の目的

大学生活  $\xrightarrow[\text{相関分析}]{\text{性別} \quad \text{専門}}$  大学の修学  
高校生活 (成績)

↓ 影響要因を考察

指導における留意点

4

4

## 意識調査の概要

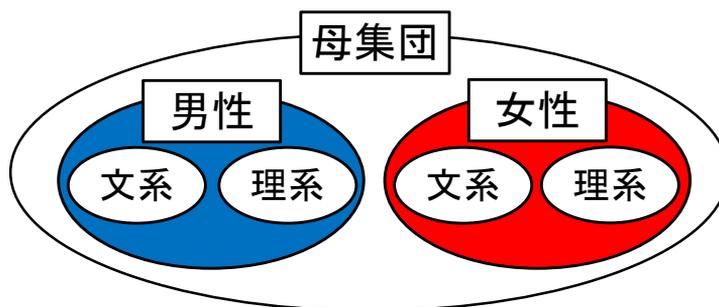
調査期間	2018年11月13日～2018年11月15日
配布・回収方法	ネットアンケート
回収数	800サンプル
被験者	成績評価にGPA(Grade Point Average: 総合成績の平均)制度を導入している大学に在籍する学部生
調査項目の概要	卒業した高等学校の特徴
	在籍する大学の学部・学科の特徴
	高等学校に在籍していた時の状況
	大学での学生生活の状況
	ソーシャルキャピタル

5

5

## 分析方法

有意水準: 10% ( $p$ 値 < 0.1)



6

6

## 高等学校に関する項目の相関分析

質問内容	単相関係数(有意水準10%)		
	男性・理系 (N = 138)	女性・理系 (N = 180)	女性・文系 (N = 353)
意欲的に学習		0.272	0.117
予習・復習をする		0.241	
試験勉強は1カ月以上前		0.224	
授業は興味、関心を引く		0.161	0.106
授業は理解しやすい		0.152	
進路指導は生徒の成績を重視	0.174		
進路指導は興味、関心を重視			0.125
教職員に授業の質問		0.208	0.126
教職員に進路相談		0.200	0.122
教職員とよく会話		0.172	0.135
教員に対する満足度高い		0.245	0.126
部活動、局会等に積極的			0.090
睡眠時間は6時間以上	0.254		
アルバイトに時間を取られなかった	0.178		
家族とよく会話	0.175		
学習指導(授業)に満足		0.163	0.125
カリキュラムに満足	0.161		0.128
進路指導に満足		0.147	0.154
卒業後の進路に満足	0.143		0.098
一人暮らし(下宿や寮を含む)であった	-0.179		
親戚・親類との付き合いを積極的	0.159		
同級生との付き合いを積極的	0.284		
総合的に満足		0.150	0.146

変数: 高校生活、通算GPA

7

7

## 高等学校に関する項目の相関分析

「通算GPA」との相関

有意水準: 10%

男性

男性・文系

・相関がない

男性・理系

・生活環境  
・人間関係

女性

女性・文系

・高校生活の満足度  
・教職員との関わり

女性・理系

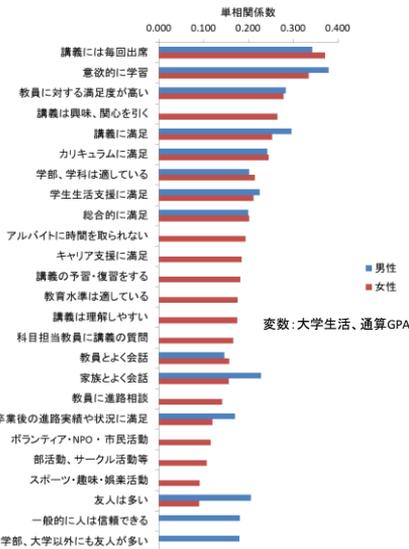
・授業内容  
・教職員との関わり

8

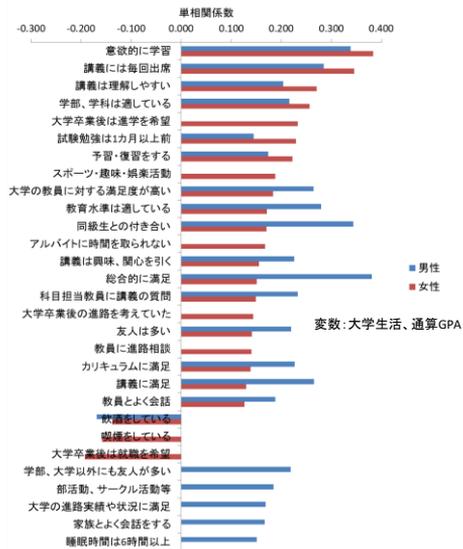
8

# 大学に関する項目の相関分析

## 文系の比較



## 理系の比較



9

# 大学に関する項目の相関分析

「通算GPA」との相関 有意水準: 10%

## 全ての属性: 教員との会話

### 文系の比較

男性・文系

・人間関係

女性・文系

・講義内容  
・教員との関わり

### 理系の比較

男性・理系

・人間関係  
・講義内容  
・教員との関わり

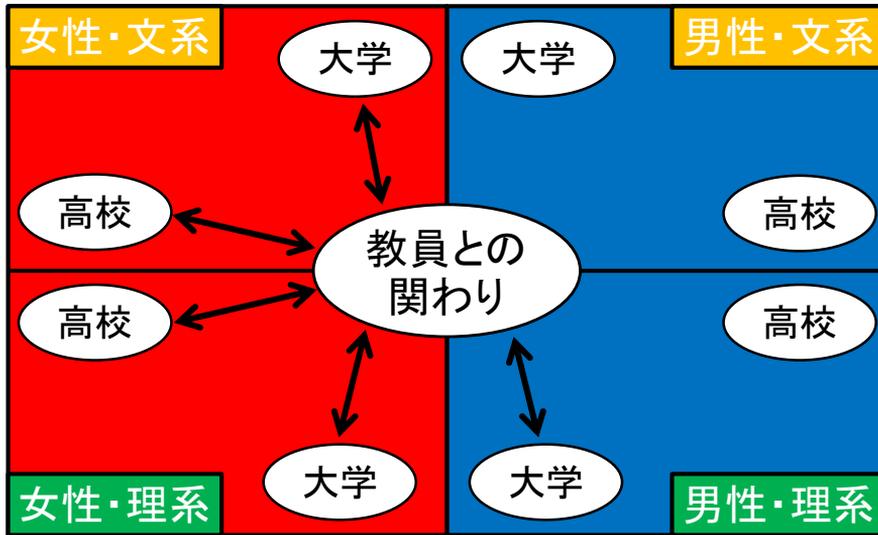
女性・理系

・学習意欲  
・講義内容  
・教員との関わり

10

10

## 教員との関わり

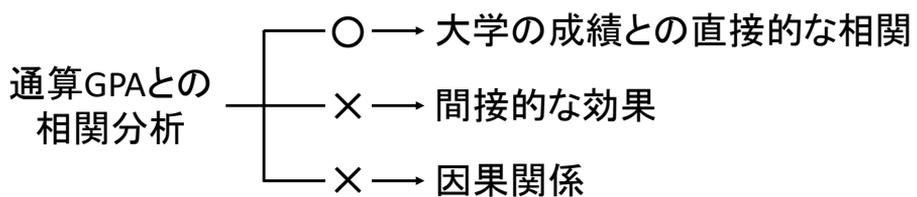


11

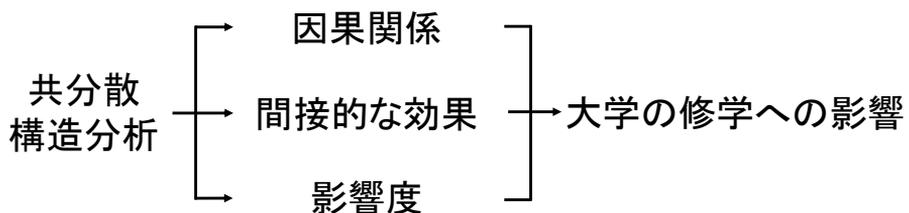
11

## 今後の課題

### 本研究



### 課題



12

12